

<霊的備え>

神は われらの避け所 また力。苦しむとき そこにある強き助け。
それゆえ われらは恐れない。たとえ地は変わり 山々が揺れ 海のただ中に移るとも。
たとえその水が立ち騒ぎ 泡立っても その水かさが増し 山々が揺れ動いても。
(詩篇 46:1-3)

<理解の手引き>

主はアブラムの名をアブラハムと変えた後、その妻サライの名をサラと変えられました。サラとは、「王女」という意味です。この時、主は初めて、アブラハムの子孫を「サラによって」与えると具体的に約束されました。

しかし、アブラハムはこの約束を信じるのができませんでした。何故なら、この時、アブラハムは 100 歳になっており、その妻サラも 90 歳になっており、更年期を過ぎ、受胎の能力を失っていたからです。それは、人間的に見たら明らかに、不可能と思えることでした。

ところが、神はこの不可能とも思える出産を可能にすることによって、この子どもが、神によって与えられたものであることを明らかにされたのでした。

その子イサクとは、「笑い」という意味があります。しかし、これは、嘲笑ではなく、主の約束が成就したことへの喜びの笑いを意味していました。

<考えてみよう>

(観察) 主は、アブラハムとサラに、どのような約束をされましたか？ それに対する二人の反応はどうでしたか？

.....

.....

.....

(解釈) この時、アブラハムは笑い、神の約束を信じるのができませんでした。それは何故ですか？

.....

.....

.....

(適用) 私達は、人間的に実現不可能と思える祈りの課題を、どのように受けとめていったら良いでしょうか？

.....

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....

.....